

平成 29 年度 三宅村立三宅中学校 家庭科 授業改善推進プラン

三宅中学校における「確かな学力」

- ・ 授業に取り組む姿勢だけでなく、家庭でも学習しようとする学び続ける力… (学習意欲)
- ・ 各教科の基礎・基本を着実に身に付ける力 … (基礎学力)
- ・ 学んだことから自ら考え、判断し、より深く学ぶ力 … (思考力・判断力)
- ・ 自分の考えを表現し、人に伝える力 … (表現力)

	各学年の課題分析 (生徒の実態・指導方法)	具体的な授業改善策	補充的・発展的 指導計画
1 年			
2 年	<p>学習意欲が高く、進んで意見を発表することができる。</p> <p>自分の生活を振り返りながら、授業を受けることができている。</p> <p>授業で学んだことを実生活に生かそうとする創意工夫の力をより一層高める必要がある。</p>	<p>各題材において、基礎・基本の定着を徹底する。繰り返しの学習を行い、習得できたことを確認しながら次の段階へと学習を進める。</p> <p>題材や発問などを工夫し、より生活に結びついた授業を心がける。</p> <p>生活に対する課題を与え、主体的に考え、取り組む機会を増やす。</p>	<p>長期休業期間の実践課題実施。</p> <p>小テスト実施</p> <p>タブレット端末を用いた調べ学習と発表の実施</p> <p>タブレット端末を用いた作業手順解説の活用。</p>
3 年	<p>学習内容の大筋は理解出来ているが、正確に詳細な内容を説明する力が不足している。</p> <p>実習時、何度も同じ箇所をつまづくことがある。</p> <p>自分の意見や作業内容の疑問点について積極的に発言することができる。</p> <p>授業内容を自分自身の生活と結びつけて考える力、実生活において学習したことを活用していける力を伸ばす必要がある。</p>	<p>確実な知識定着のため、授業の始めに前時までの要点を確認し、反復学習を行う必要がある。</p> <p>タブレット端末の活用、発問の工夫、板書の工夫を行い授業の要点を明確にする必要がある。</p> <p>自身の生活と学習事項を関連させて振り返る時間を設ける。発問や家庭学習課題などを工夫し、より生活に直結していく授業を行う。</p>	<p>長期休業期間の実践課題実施。</p> <p>小テスト実施</p> <p>タブレット端末を用いた調べ学習と発表の実施</p> <p>タブレット端末を用いた作業手順解説の活用。</p>